

政策 03 安全・安心に暮らせるまちづくり

施策 05 上水道の安定供給



あるべき姿

安全な水道水を安定的に使用することができます。

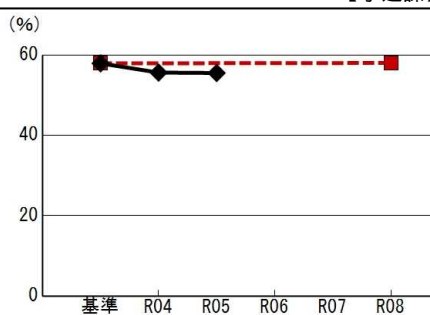
■ 施策の成果状況と評価

指標	水質基準不適合率（％）		対基準値	指標値の注釈
	【水道課】		（向上）	
指標の動き	後期基準値	0.0	（向上）	分析 評価 管路の管洗浄作業や定期的な水源井の点検、配水池等の清掃業務を例年どおり実施したことが挙げられます。引き続き適正な水質の維持に努めます。
	R04実績	0.0	対前年度	
	R05実績	0.0	（向上）	
	R06実績		目標達成度	
	R07実績		（達成）	
	R08実績			
	R08目標値	0.0		

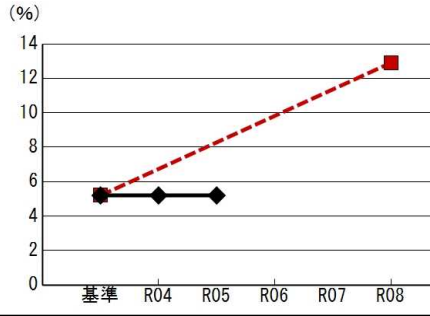
指標	年間給水制限日数（日）		対基準値	指標値の注釈
	【水道課】		（向上）	
指標の動き	後期基準値	0	（向上）	分析 評価 前年度と同様、湧水や水道施設の事故等のために、減圧等によって給水制限した日数はなく水道施設の日常点検をはじめ、設備等の更新や維持管理に努めてきたことが挙げられます。引き続き安定供給に努めます。
	R04実績	0	対前年度	
	R05実績	0	（向上）	
	R06実績		目標達成度	
	R07実績		（達成）	
	R08実績			
	R08目標値	0		

■ 基本事業の成果状況と評価

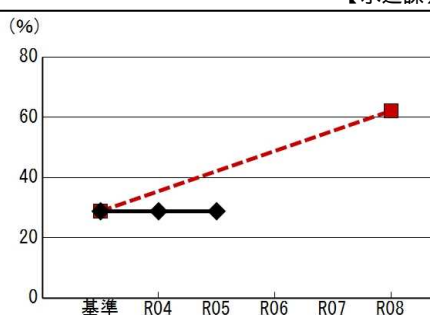
基本事業01 安定した水道水の供給

指標	水道施設利用率（％）		【水道課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	57.9			
指標の動き	R04実績	55.6		対前年度 (低下)	分析 評価 1日の平均配水量が減少したことが挙げられます。引き続き安心安全な水道水の供給に努めます。
	R05実績	55.5		対前年度 (低下)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(低)	
	R08実績				
	R08目標値	58.0			

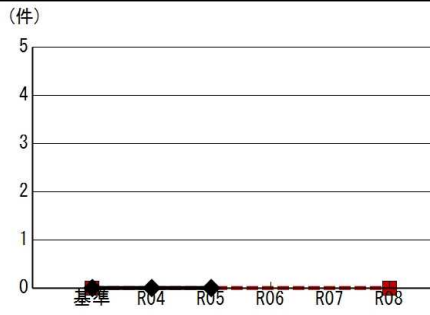
基本事業01 安定した水道水の供給

指標	基幹管路の耐震管率（％）		【水道課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	5.2			
指標の動き	R04実績	5.2		対前年度 (横ばい)	分析 評価 今後上尾道路整備事業の影響により配水の状況が大きく変わる地域があるため、将来における基幹管路等の適正規模を見定めると同時に更新の検討をしている段階です。
	R05実績	5.2		対前年度 (横ばい)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(低)	
	R08実績				
	R08目標値	12.9			

基本事業01 安定した水道水の供給

指標	浄水施設の耐震化率（％）		【水道課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	28.8			
指標の動き	R04実績	28.8		対前年度 (横ばい)	分析 評価 浄水施設の耐震化率は昨年と同様でした。将来における浄水施設の適正規模を見定めるため、運用の見直しをしていることが挙げられます。
	R05実績	28.8		対前年度 (横ばい)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(低)	
	R08実績				
	R08目標値	62.1			

基本事業02 安全な水道水の供給

指標	水源の水質事故件数（件）		【水道課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	0			
指標の動き	R04実績	0		対前年度 (向上)	分析 評価 水源の突発的水質異常のリスクを表す水源の水質事故件数は、前年度と同様にありませんでした。定期的な原水水質の検査や水源施設（深井戸）の維持管理を実施したことが考えられます。
	R05実績	0		対前年度 (向上)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(達成)	
	R08実績				
	R08目標値	0			

基本事業02 安全な水道水の供給

指標	総トリハロメタン濃度水質基準比率（％）		対基準値	指標値の注釈
	【水道課】		（低下）	
指標の動き	後期基準値	19.1	対前年度 （低下） 目標達成度 （低）	分析 評価
	R04実績	22.5		(状況)トリハロメタンは水道水の消毒として使用される塩素が原水の有機物に反応して生成される物質です。前年と比較すると、14.8ポイント低下しています。 (原因)県水に含まれる総トリハロメタンが前年より高かったため、県水を多く受水している浄水場系統の数値が上昇したことが挙げられます。
	R05実績	37.3		
	R06実績			
	R07実績			
	R08実績			
	R08目標値	21.0		

基本事業03 経営の安定化

指標	水道事業営業収支比率（％）		対基準値	指標値の注釈
	【経營業務課】		（低下）	
指標の動き	後期基準値	97.9	対前年度 （向上） 目標達成度 （低）	分析 評価
	R04実績	89.5		(状況)営業収支比率は水道事業の収益性を表す指標で、基準値(97.9%)と比較すると7.8ポイント低下、前年度と比較すると0.6ポイント向上しています。 (原因)営業外収益である加入金が件数増加等により増加し、営業費用である動力費が電力料金が下がったことにより減少したことが挙げられます。
	R05実績	90.1		
	R06実績			
	R07実績			
	R08実績			
	R08目標値	103.0		

基本事業03 経営の安定化

指標	水道料金回収率（％）		対基準値	指標値の注釈
	【経營業務課】		（低下）	
指標の動き	後期基準値	100.1	対前年度 （向上） 目標達成度 （低）	分析 評価
	R04実績	91.7		(状況)料金回収率は水1立方メートルあたりの収益と費用の割合を示すもので、基準値(100.1%)と比較すると7.2ポイント低下、前年度と比較すると1.2ポイント向上しています。 (原因)給水収益は減少していますが、動力費や委託料等の経常費用の減少により給水原価が大きく低下したことが挙げられます。
	R05実績	92.9		
	R06実績			
	R07実績			
	R08実績			
	R08目標値	106.0		

基本事業03 経営の安定化

指標	有収率（％）		対基準値	指標値の注釈
	【経營業務課】		（向上）	
指標の動き	後期基準値	91.3	対前年度 （低下） 目標達成度 （達成）	分析 評価
	R04実績	92.9		(状況)有収率は、基準値(91.3%)と比較すると0.5ポイント向上、前年度と比較すると1.1ポイント低下しています。 (原因)消火活動による消防用水や水道管内の付着物等を排除するための管洗浄水等の水道料金の対象とならない無収水量が、前年度と比較して増加したことが挙げられます。
	R05実績	91.8		
	R06実績			
	R07実績			
	R08実績			
	R08目標値	91.4		